



す。だから一つ一つの項目にわたって関連づけようとするのには、だいぶ無理があるので。成長・発達理念、内容範囲は一貫性があり、個々の内容にはかさなりがあるものが多いので、現在文部省でも検討中です。

問 カリキュラムで年間目標と実践計画をどのようにたてれば、小学校との連絡がうまくいくでしょうか。

武田 私の学校では、一年の担任を毎年一月にきめまして、幼稚園を参観させます。この場合、小学校の先生も幼稚園でいちおう教えてみるとよいのですが、そうもいきませんからよくみていただきます。そして幼稚園の現場をよくみたあとで、両方の先生がよく話しあいます。生活指導の場合などでは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の全部が連絡委員会をもって、一貫した指導をするように話し合う機会をもっています。

A 生活指導の目標は、小学校では教科別ですが、幼稚園では具体的に一人の子どもの興味に沿っています。たとえば製作活動などは、興味のない子はいしないで、別のことをしていますが、小学校ではいっせいにやります。その違いが問題だと思います。また幼稚園にいかないで小学校に入學した子どもの場

合も問題ですね。幼稚園で興味や創造性をのばし、のびのびと育った子どもが小学校でたえられるようです。

問 併設幼稚園のばあいの組の編成について、幼・小の連絡をどのように考慮すべきでしょうか。

A 私は幼稚園と小学校を兼務しています。両者はとかく感情的なまざつががあります。そのため、一昨年の組の編成については幼稚園との話し合いをしないで、小学校のみで知能テストや身体状況、知識の有無によって組をわけたら大問題が起ったのです。というのは、一組にいわれる悪い子や問題児が集って、特殊学級になったので、父兄からは問題視されるし、担任教師の苦労はなみたいていではありませんでした。これではいけないというので、翌年から連絡しあい、参観しあって、たがいによく知りあうように努めました。そのため感情的にも、ほぐれました。子どもの特質も理解できて、とても都合よく組の編成ができるようになりました。

これは私の貴重な体験の一つですが、このことから考えてみても、幼稚園と小学校は手結び合っていかなければならないと思えます。

問 幼稚園と小学校の連絡協議会のあり方について経験談をおきかせください。

A 父兄の間から、小学校の生活は子どもに生活にそぐわないようだ、という意見が出たことがあります。それが教育委員の耳にはいりましたので、教育委員会から、幼・小の連絡委員会をもつよう要請されました。それまでは校長が必要ないとしていたので実現できませんでした。父兄の単刀直入の話し合いから実現される運びになりました。毎月第二水曜に、小学校低学年の先生の幼稚園参観がおこなわれることになりました。

武田 大変よいことですね。八、九年前東京都で幼児教育研究会をつくったとき、三十名から五十名の先生が集りましたが、そのうち小学校の先生は二名か三名でした。その先生は翌年には一年生の担任ではなくなるので、来なくなってしまういました。だから先生の顔ぶれは毎年ちがってくるので困ってしまいました。今では幼稚園がふえて、小学校の方でもその必要を感じ、認識が深まってきました。協議会や部会がもてるようになったことだけでも進歩ですね。何といても現場の先生方の熱意が必要だと思います。

(お茶の水女子大学付属幼稚園にて)